

令和6年10月期 随時モニタリング実施について

日 時 令和6年11月6日（水）13時30分～15時30分

会 場 加茂野保育園 職員室

出席者 美濃加茂市・株式会社セリオ

内 容（○：市 ●：指定管理者）

・令和6年10月期の報告

1. 本部及び統括エリア長の報告について

【本部より】

●見守りカメラ設置について
防災安全課に協議、進行中

29日、NTT ネット回線の現調に立会い
今後、工事を2回実施する。
工事内容として総合盤の中にコンセントと分配器を設置。
2回目の工事が終了次第、使用可能
工事の日程についてはNTTの担当者より園に連絡が入る予定。

【統括エリア長より】

●6日に訪問
園の状況、園長との共有事項の報告

2. 園長及び副園長による保育の様子について

●0、1歳児のクラスを中心に保育の補助に入る。
10月より0歳児が1名入園したことで、最近は特定の園児ではあるが噛みつきが多くなってきたので一人ひとりの子どもの様子や行動を把握しながらトラブルや怪我が起こらないように注意し保育の見守りや補助に入る。

●年長担任が休職中の為、担任代替に9月より入職の職員をたてる。
元気な子が多く、新しい担任への試し行動も見られ、トラブルにつながってしまうことも多いのでサポートや補助に入る。また、代替職員との面談もこまめに行う。

●0、1、2歳児のブラインド参観の実施（10月23日、24日）

●年長男児の保護者より意見があり、面談を行う。

3. 児童の様子について

特になし

4. 保育の質の向上について

①人員体制の維持拡充

（職員採用、フリー保育士の配置、クラス複数担任制、保育補助スタッフ等の配置）

●意向調査の実施。全職員の継続意向確認。

●引き続き、保育士、通訳、警備員、用務員の採用に努める。英語通訳と面談予定。

②積極的な研修受講

(子ども中心の保育理念に基づく研修、遊び中心の保育の実践方法に関する研修
コミュニケーションと関わりに関する研修)

- ・ 11/5 園内研修「保護者対応」(副園長より)
- ・ 11/16 中濃ブロック研修

③チームワークを高めるための取組み

(園内研修、公開保育、交流保育)

- ・ 園内研修の実施(報連相研修。昼礼へ参加できない保育士への情報共有に課題。)
- ・ 公開保育の参加
- ・ 交流保育→今後、実施予定

- ・ 11/1 副園長、主任を対象とした東海エリアの連絡会を実施

④保護者との円滑なコミュニケーション

(保育参加の促進、園庭開放の実施、園内掲示物の充実、コドモンの活用
登降園時の直接的なコミュニケーション)

- ・ 保育参加について
積極的に参加してもらっている。
12月からは未満児の保育参加開始予定。
3期目の募集時点で、申し込みがない保護者に対しては引き続き、担任から参加してもらうように声をかけていくなど個別での対応をしていく。

- ・ 園庭開放の実施について
10/23に実施(参加者3名)
雨天の為、体操教室を見学。その後、2歳児クラスにて室内遊びに参加する。

- ・ 園内掲示物の充実
文書箱からのポスターなどを随時、掲示している。
クラスの壁面を廃止し、給食室前の大きな壁に学年ごとの製作物の掲示を行う。

⑤その他

(登降園時の見守り活動、地域との連携など)

- ・ 地域との連携について
小学校との連携、運営委員会の参加。
10/24に開催された加茂野小学校の運動会に園長、前年度の年長担任が来賓として参加。

5. 保育サービスの充実について

①希望保育特別活動の実施

- ・ 10月より英会話レッスンを本格的に実施。(月に2回)

②トヨタカレンダーに基づく休日保育の実施

③医療的ケア児保育の実施

○医療的ケア児の受入にかかる検討事項共有。

④その他（児童館利用者への園庭開放、おむつのサブスクリプション）

○こども未来課保育士から

【園の様子・保育内容について】

◎年少・年中・年長児は体操教室に参加

- ・各年齢に合わせた内容・プログラムで、こどもたちは意欲的に挑戦し、体操教室に取り組む姿が見られた。
- ・前回りや、逆上がり、組体操に挑戦する姿を見て、運動会での経験も子どもたちの成長につながっていると感じた。

- ・子どもたちの姿を、その場で認めてあげることが大切。
運動遊びに苦手意識のある子、やる気をなくす子、やってみたいけど自信のない子など、こどもたちの様子、姿、思いは様々なため、保育士は寄り添う気持ちが大切だと感じた。

- ・体操教室終了後、保育士は、体操教室の先生との振り返りや、個別の対応に追われて、こどもたちだけで保育室に戻ったり、給食の準備をしたりする姿が見られた。
体操教室を終えた子どもたちは、楽しかった思いや終わった解放感から、気分が高まり、落ち着きがない状態の子が多くいた。また、給食の準備の時間だということは分かっているけど、他事をしてしまう子も多かった。

この時間が危険・・・

もしケガ（ケンカ）をしたら ⇒ 保育士は、こどもたちが何をしていたかが分からない状況 ⇒ 原因がわからず保護者への説明等ができない（こどもへの対応も同じ）

園全体で協力できるとどうか？

例えば、未満児クラスからひとり給食準備の手伝いに行く。または、年中クラスの保育士がこどもたちの様子を見る等、園全体で協力することも必要。

◎保育士の配置等について

- ・職員の休みが多い日だったが、休憩を交代で取得できるよう協力をして保育していた。
保育士の休みが多い日は特に、保育士同士の連携が大切。
- ・休んでいる職員の代わりに入る保育士、クラスのこども、保護者への配慮も必要。
園の目標に向かって、また、こどもたちをどのように育てていくかなど、同じ気持ちで保育することが大切。どの保育士が、代わりに入っても大切にしたい思いが同じなら、こどもたちが安心して生活できる。保育士も自信を持って保育ができる。

・次回こども未来課保育士訪問日 令和6月11日19日（火）

・次回随時モニタリング 令和6年12月6日（金） 13時30分から